

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、病害虫発生予察速報第6号を発表したので送付します。

平成13年度病害虫発生予察速報第6号

- 1 対象作物 促成栽培トマト
- 2 病害虫名 トマト黄化葉巻病（TYLCV）
- 3 発生状況
平成13年9月、県南地域の促成栽培トマトで、トマト黄化葉巻病の発生を確認した。
本病は、平成8年にわが国で初めて発生が確認され、本県でも平成11年に発生が確認されている。
- 4 防除上注意すべき事項
 - （1）本病は定植時期が早い作型ほど、発病率が高くなる傾向がある。また前作発生した地域では本作においても発生する可能性があるため、媒介虫であるコナジラミ類（シルバーリーフコナジラミ）の防除を育苗期から徹底する必要がある。
 - （2）ほ場周辺雑草は、コナジラミ類の発生、増殖源となるので、ハウスへ苗を持ち込む前に徹底して除草する。
 - （3）ハウス内へのコナジラミ類の侵入を防ぐため、育苗期からハウスサイドなどに防虫網（1mm目合）を設置する。
 - （4）苗を鉢上げ後、活着したら薬剤を2回程度散布し、さらに本ぼ定植前にアドマイヤ-1粒剤（直径9cm以上のポット苗で使用）またはチェス粒剤を、ポット内に株元散布する。
なお前年、本病が発生した地域では、予防的にコナジラミ類の防除を行う。
また、薬剤に対するコナジラミ類の感受性低下を避けるため、数系統の薬剤によるローテーション散布を行うとともに、ハウス周辺雑草も防除する。
 - （5）定植後はハウス内に黄色粘着シート（ITシート）を設置し、常にコナジラミ類の発生に注意し、適切な防除を行う。
 - （6）ウイルス症状などの疑わしい株が認められたら速やかに除去し、普及センタ-、病害虫防除所に診断を依頼する。